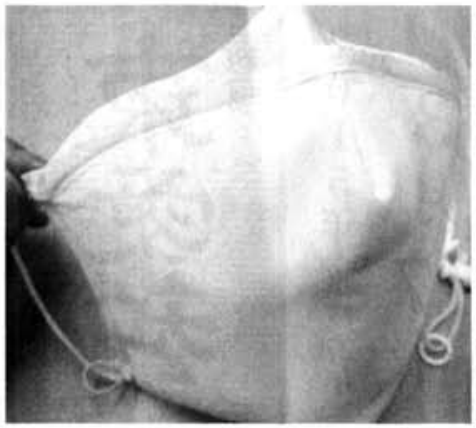
液状ぬか床とPM2・5マスク

豊橋商議所 2社に「ものづくり大賞」

都市デザイン文化賞も決まる

豊橋商工会議所は16日、優れた技術、生産工程の開発などをたたえる今年度の「ものづくり大賞」と「都市デザイン文化賞」、環境技術の開発、環境対策への取り組みなどを表彰する「環境経営賞」を発表した。各賞の表彰式は、25日の議員総会で行う。

（中村晋也）



ものづくり大賞の東海漬物「おいしいぬか漬」㊨、くればぁのマスク㊧

ものづくり大賞には、発酵風味に優れた新しい「液状ぬか床」を開発した東海漬物（豊橋市駅前大通2）と、洗って再利用でき、感染リスクを減らす微小粒子状物質「PM2・5」対策のマスクを作ったくればぁ（同市大村町）が選ばれた。

東海漬物は昨年3月、液状ぬか床で商品「おいしいぬか漬」を発売し、売り上げは半年で1000万円を達成。ぬか床を液状化して発酵させるのは、水の中で火を燃やすような難しさがある中、不可能とされてきた液状ぬか床によるタンク内発酵、安定生産を可能にした。

ぬか漬の臭みも除いている上、食卓から消えつつある伝統食品を市場化させた。

一方、くればぁのPM2・5マスクは、髪の毛の100分の1という世界一細かいメッシュ（網目織り）を用い、炭素繊維も織り込んで微粒子を通さず、付着しにくくした。使い捨てではなく、洗って再利用が可能。「隙間のない状態で使ってこそ有効」として使用者の顔の形に合わせたオーダーメード品にも力を入れる。

PM2・5のほか、花粉やウイルスなど有害物質対策用のマスクとして使われている。

◇

都市デザイン文化賞は、文化、自然環境などに配慮した店舗や工場、事務所など建造物が対象で、施主と設計者、施工者を顕彰。シンフォニアテクノロジー豊橋製作所（豊橋市三弥町）の技術開発センターと、豊橋倉庫（同市向山一本松）の商業施設「MUKAIYAMA FORESTA DUE（デュエ）」、菅野燃料店（同東雲町）に決まった。

都市デザインに選ばれた（上から）シンフォニアテクノロジー豊橋製作所の技術開発センター、豊橋倉庫の「MUKAIYAMA FORESTA DUE」、菅野燃料店

シンフォニアテクノロジーの技術開発センターは、省エネを図る工夫や緑化による周辺環境の配慮などを施した。新幹線と国道1号に面し、企業の先進性を訴えるデザイン。中日設計が設計し、清水建設名古屋支店が施工した。

デュエは、白色を基調にしたシンプルなデザイン。敷地内の樹木も生かした。オノコムデザインセンター・PHONONDESIGNの設計で、オノコムの施工。

菅野燃料店は、船を思わせる形状。外壁に杉板を採用して店の歴史を、路面電車が走る通り側にガス灯を設置して燃料店としての個性を形で表現した。設計はhip works、施工は望月工務店。

◇

環境経営賞では、最優秀賞に宝和工業豊橋工場、優秀賞に荒木石油店と丸上製作所、吉田商会、奨励賞にほの国百貨店の豊橋市内の5事業所が選ばれた。

自動車内装部品メーカーの宝和工業は、10年以上にわたり、生産設備・機械の省エネ改善などに継続的に取り組み、環境負荷の低減に効果を上げている。

石油販売業・荒木石油店は、地下タンクからの漏えいによる土壌汚染防止の事業を実施。丸上製作所は、大型ばねの製造にガス炉を利用しているため省エネ、環境負荷低減対策としてガス、電力の双方で取り組む。吉田商会は、使用済み自動車の完全リサイクルとリサイクル部品販売による二酸化炭素削減に貢献する。

ほの国百貨店は、ネオンサインのLED化、エレベーターの高効率モーター採用などで電力量を大幅に削減した。